

三重県

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

- ・平成22年末現在、三重県の医師数は、人口10万人あたり190.1人（全国219.0人）、全国で37位となっている。
- ・医師の「地域偏在」「診療科の偏在」、さらに診療所と比較して病院勤務医師が不足する「病診偏在」が顕著化している。
- ・県内の医師数は増加しているものの、救急医療などを中心的に担う40代までの医師数が減少傾向にある。
- ・医師修学資金貸与制度利用者や三重大学医学部地域卒業生の県内医療機関への勤務が今後増加する見込みであることから、これらの医師が、県内に定着してもらえるよう、キャリア形成の支援を行う必要がある。

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。（ポンチ絵等、参考資料を添付願います。）

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

- ①医師無料職業紹介事業による医師確保（H22～）
- ②三重県版医師定着支援システムを活用した診療支援（H21～）
 - ・医師不足地域の病院に対して、支援病院から医師を派遣
- ③医師修学資金貸与制度（H16～）、臨床研修医・専門研修医研修資金貸与制度の運用（H23～）
- ④臨床研修病院の魅力向上支援（H22～）
 - ・臨床研修医確保の取組、コンペ方式で採択し財政支援
- ⑤勤務医師負担軽減対策事業（H22～）
 - ・病院勤務医の負担軽減を図るための病院の創意工夫による取組をコンペ方式で採択し財政支援
- ⑥三重大学や三重県地域医療研修センターにおける医学生等に対する地域医療に関する教育と動機付け（H21～）
 - ・大学、市町、県等の協働による地域医療を担う人材の育成
 - ・医学生・研修医に対する地域医療に関する実践的な研修の提供

【設問 3】

設問 2 で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。(あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| ①問合数 39 名 | 成約 14 名、継続 9 名 (24.3 末現在) |
| ②支援実績 | 3 件 |
| ③医師修学資金貸与者累計 | 285 名 |
| 臨床研修医研修資金貸与者累計 | 18 名 |
| 専門研修医研修資金貸与者累計 | 2 名 |
| ④平成 22 年度実績 | 8 病院 1 団体 10 事業 |
| 平成 23 年度実績 | 8 病院 1 団体 11 事業 |
| ⑤平成 22 年度実績 | 5 病院 5 事業 |
| 平成 23 年度実績 | 5 病院 7 事業 |
| ⑥三重県地域医療研修センターでの初期臨床研修医受入実績 | |
| 平成 21 年度 | 21 人 |
| 平成 22 年度 | 35 人 |
| 平成 23 年度 | 35 人 |

【設問 4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

地域医療支援センターにおいて、修学資金貸与者等のキャリア形成の支援を行うにあたり、地域や県民の期待に応えるような勤務形態、研修計画を立案し、かつ専門医取得、大学院入学、国内国外留学を含めた支援を受けられるよう、県民、地域、若手医師のすべてが win-win となるキメの細かいキャリア支援モデルを立案し安心して初期後期の研修に打ち込める体制づくりを行うため、関係医療機関の理解、協力が得られるよう調整する必要がある。

また、修学資金貸与者等が、支援センターを活用したキャリア形成をしてもらえるよう、周知に取り組む必要がある。

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

- ・ 病院、研修医等への調査による医師不足原因の調査
- ・ 地域別、主要病院別、診療科別等の医師需給予測
- ・ 修学資金貸与者等の医師不足地域・病院への適正配置
- ・ 修学資金貸与者等が勤務しやすい環境整備についての提言
- ・ ホームページにより、医師、医学生等に向け、キャリア形成支援の取組や研修会開催状況等の情報提供
- ・ 修学資金貸与者等の卒後のキャリア形成支援モデルの作成・助言
- ・ 修学資金貸与者等へのキャリア支援セミナー等の実施
- ・ 医師・医学生のキャリア形成に関する問い合わせ対応
- ・ 県内高校生等からの医学部のカリキュラム、医師の職業、修学資金制度等に関する問い合わせ対応
- ・ 後期研修プログラムと一体化したキャリア支援を行い確実に専門医資格の取得をサポート
- ・ 大学院入学や国内海外留学などの支援の実施